

### 第3章 推進のための取組

第1節 家庭・地域における取組	実施区分
<p><b>1 家庭・地域における推進</b></p>	
<p>子どもが本に興味を持つきっかけをつくり、また習慣につなげるためには、家庭や地域の関わりが重要です。 乳幼児期から絵本や物語を読み聞かせてもらったり、本を自由に読むことができる環境にすることで、子どもは本の楽しさを知っていきます。またスマートフォンやタブレット、パソコンの普及により、子どもの余暇の過ごし方の選択肢が増えています。それらとの良好な関わりが今後ますます重要になってきます。</p>	
<p>&lt;取組の方向性&gt; ・図書館を中心にボランティアグループ等の関連団体とのネットワーク化を図っています。今後さらに、本や子どもの読書推進についての情報交換や協働の取組の充実を図ります。</p>	<p>拡充</p>
<p>・地域への把握のための調査を行い、また地域での子ども食堂などで読書普及のための支援をしていきます。</p>	<p>拡充</p>
<p>・図書館等で行う読書推進行事等に親子で参加できるよう企画を工夫し、新規利用に繋がるよう、学校園等とも連携を深めます。また開催情報は広報、ホームページ、館内掲示にとどまらず、寝屋川市の公式SNS<sup>(23)</sup>を使い積極的に発信していきます。</p>	<p>継続</p>
<p><b>2 図書館における推進</b></p>	
<p>図書館は子どもが本と出会い、読書の楽しさに気づく場所です。子どもが通いたくなる場所であるために、魅力的な図書館づくりが必要になってきます。</p>	
<p>&lt;取組の方向性&gt; 【乳幼児期の子ども読書活動推進】 (ブックスタート事業)</p>	
<p>・図書館では、ブックスタート事業として、4か月児健康診査時に「赤ちゃんに絵本を贈ろう」事業を行っています。この事業は、図書館の基本的な事業の一つとして今後も実施していきます。また、贈呈本の選定も適宜行っていきます。</p>	<p>継続</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんと保護者が一緒に楽しめる絵本の講座「だっこでよんで あそんでよんで」の開催の他、図書館での絵本の読み聞かせ等を継続していきます。また乳幼児期から図書館に慣れ親しんだ子どもが、以降も継続して利用できる環境づくりに努めます。</li> </ul>	<p>拡充</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館に通いにくい地域にいる子どもやその保護者も、本に触れる機会を増やせるよう、市内特定郵便局やステーションを活用した、配送サービス(24)を提供します。</li> </ul>	<p>新規</p>
<p>【学校園所の子どもの読書活動推進】 (読書のきっかけづくり・習慣化の推進)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと保護者が安全で安心して、楽しく過ごせる空間を確保した施設として、市駅前にこども専用図書館(25)の整備を検討します。</li> </ul>	<p>新規</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代や学生の、学びや憩いの場として、自分の時間、居場所ができるような空間を創出し、総合図書館としての機能を持った図書館を市駅前に新設します。</li> </ul>	<p>新規</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書のきっかけづくり・習慣化の取組として、平成29年度から読書通帳(記述式)を希望者(市内小中学生)に図書館全館で配布しています。図書館での配布に加え、平成30年度からは学校図書館で学校司書が取扱いできるようにしています。この取組は今後も続けていくことに加え、利用が一部に限られているため、PR方法及び配布方法等を工夫しさらなる周知に努めます。</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>(本展・行事等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別・季節ごとに本を紹介する子ども向けの本展の充実、行事としてボランティア団体との連携での「おはなし会」「大型絵本」「紙芝居」などを継続的に実施していますが、さらに参加者を増やせるよう公式SNSなどを通じ、積極的にPRしていきます。</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>(図書館見学・職場体験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが図書館に親しむきっかけづくりとして、幼稚園や小学校からの図書館見学、中学生の図書館職場体験を受け入れています。今後、未実施の小中学校園にも積極的にPRしていきます。</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>(移動図書館)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>既に一部小学校で実施している移動図書館おきがる号の巡回を多くの学校に拡大していけるよう努めます。</li> </ul>	拡充
<p>(団体貸出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校園所への団体貸出利用の本の充実を図り、積極的に行ってきましたが、今後未実施の学校園所にも利用していただけるよう PR に努めます。</li> </ul>	拡充
<p>(学校への情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校や中学校では、様々なテーマに沿った資料を利用して行う「調べ学習」を行っています。図書館では、今後も「調べ学習」に利用していただける資料を収集していきます。</li> </ul>	継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館に携わる司書教諭・学校司書・教職員等のスキルアップを図るための資料・情報提供や府立図書館や大阪公共図書館協会等が実施する研修情報の提供、講師の紹介等を行います。</li> </ul>	継続
<p>(YA サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼少期より本に慣れ親しんだ子どもも、自身の成長とともに余暇を過ごす手段の選択肢も増え、紙の本に触れる機会が減っていく傾向にあります。しかしスマートフォンなどで電子書籍に触れる中学生・高校生も多いため、本に再び興味を持つきっかけづくりとなるよう、電子書籍(26)を活用していきます。</li> </ul>	新規
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生・高校生への読書推進のための YA (ヤングアダルト) 資料のコーナーの充実努めます。</li> </ul>	継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館が中学校と連携し、職場体験などを通じて本の素晴らしさ、読書の楽しさを実感してもらえるような機会を設けていきます。</li> </ul>	継続
<p>(子ども読書活動推進ボランティアの支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの読書活動を推進しているボランティア団体は、地域や幼稚園、保育所園等の子育て支援施設、また小中学校で様々な活動を行っています。図書館はそれら団体の勉強会のため本の貸出等を行っています。今後より一層の支援を行うため、年1回の活動調査を行い、図書館を中心としたネットワーク化を図り、各団体と情報を共有します。またボランティア活動を希望する人には情報を提供します。</li> </ul>	拡充
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの読書活動を推進しているボランティア団体のスキルアップを図るため、府立図書館等で実施される研修等の情報を提供します。</li> </ul>	継続

第2節 幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センター・学校等における取組	実施区分	
1 幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターにおける推進		
<p>幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期にあたります。その大切な時期に、一日の多くの時間を過ごす幼稚園や保育所で、友だちや先生と一緒に読書を体験することは、感性を育み、ことばを豊かにする素晴らしい機会となります。</p>		
	<p>&lt;取組の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターは、それぞれの施設において、図書館と連携し絵本を準備し絵本コーナーの更なる充実に努めます。また、幼稚園教諭や保育士、市民ボランティア等による読み聞かせなども行っていきます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターで利用する絵本は、図書館から団体貸出を受け内容を充実させていきます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所園では、絵本との関わりを集団の中でより多くの子どもに体験してもらうため、読み聞かせ等の「幼児のためのブックスタート事業」（平成21年度より開始・業務委託）を実施しています。この事業は、図書館の事業として継続実施するとともに、未実施の保育所園にも働きかけて、実施先を増やす努力をしていきます。</li> </ul>	継続
2 学校における推進		
<p>小・中学校は、子どもが一日の大半を過ごす中で交友関係を広げ新たな知識を身に付ける場所です。そこで行われる読書活動の推進は子どもたちの成長にとって非常に重要な役割を担っています。また、先生や親から与えられた本を読む受け身の状態から、自分たちで本を選ぶという自発的な行動に移る大切な時期でもあるため、子どもたちが自由に本を選ぶ環境を整えることが重要です。</p>		
	<p>&lt;取組の方向性&gt;</p> <p>(学校図書館の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校の司書教諭と学校司書が連携を行い読書活動の推進を行っていきます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校の蔵書状況の把握に努め、よりよい利用の仕方を市立図書館と連携して考えていきます。</li> </ul>	継続

<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭・学校司書・教職員等の子どもの読書活動に関係する人の更なる専門性向上のため、図書館と連携して学校図書館に関する知識・技術の研修に努めます。</li> </ul>	継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校蔵書の充実に努めるとともに市立図書館と連携し必要な本を用意します。</li> </ul>	継続
<p>(学校での読書活動推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒が読書の楽しみを知るきっかけをつくるため朝の読書タイムや国語の時間等を利用し、教諭やボランティア団体による読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークにふれる機会を設けます。</li> </ul>	新規
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の資料を利用し、本や新聞、資料等を活用した「調べ学習」のさらなる充実に取り組みます。</li> </ul>	継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の読書環境充実のため、市立図書館と連携してより多くの学校に移動図書館車を受け入れるとともに、読書通帳の普及に努めます。</li> </ul>	継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の団体貸出や移動図書館車の受け入れなどを利用して、子どもたちがふれる本はできるだけ綺麗な状態であるよう努めます。</li> </ul>	新規
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館と連携して、子ども読書活動推進のイベント（子ども版ビブリオバトル、えほんのひろば等）の実施に努めます。また各校のイベント実施状況を把握するシステムをつくっていきます。</li> </ul>	拡充
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校において、読み聞かせ等で子どもの読書活動推進ボランティアと連携・協力を進めています。それらの活動を図書館が中心となって各団体等との連携を図れるよう、それぞれの活動場所や内容の把握を行っていきます。</li> </ul>	拡充

第3節 障害のある子どもや外国人の子ども等への取組	実施区分	
1 障害のある子どもの読書支援		
<p>障害のある子どもへの読書支援を行うためには、それぞれの子どもの障害、発達の状態に応じて様々な資料を収集していくことが重要になります。また、それらの資料が必要な子どもに届けるため、資料の周知や橋渡しの役割を果たす人材も必要となってきます。</p>		
	<p>&lt;取組の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子どもにとっても図書館が身近な存在になるよう、障害の有無に関わらず楽しめる行事を開催します。</li> </ul>	新規
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大読書器、音声読み上げ機など障害者が読書しやすい機器をさらに周知し、利用促進に努めます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子どもの読書活動環境を整備するため、図書館はさわる絵本や布の絵本、点字資料や録音図書などの整備・活用を図るとともに、点字図書館などの専門機関や関連部署との連携を図っていきます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読ボランティアや点訳ボランティアとの連携を図り、対面朗読や資料の収集・充実に努めます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子どもの図書館見学や職場体験を通じ、学校や福祉施設との連携を図り、図書館に親しみ、読書への興味や関心を引き出すことに努めます。</li> </ul>	継続
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館や学校、幼稚園、保育所園、医療型児童発達支援センター「あかつき園」、福祉型児童発達支援センター「ひばり園」「第2ひばり園」などで、障害のある子どもたちのニーズを把握し、個々の状況や発達段階に応じた読書活動の支援を行います。</li> </ul>	継続
2 外国人の子どもの読書支援		
<p>外国人の子どもが母国語ではない環境で生活する上で、社会生活に必要な日本語、生活様式等を学べる資料が必要になってきます。また、自らの文化にふれる機会を持つことや、親子で母国語を使い続けられることも大切です。</p>		
	<p>&lt;取組の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の子どもが日本文化にふれられる図書館に通うきっかけとなるよう、日本語を母国語としない子どもも楽しめる行事を開催します。</li> </ul>	新規
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域に住む外国語を母国語とする人（子ども）や外国語や文化等に関心のある子ども向けに図書館では外国語の絵本や児童書を継続して収集し、提供します。</li> </ul>	継続

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した外国語の絵本や児童書を、寝屋川市駅前図書館の児童コーナーの「アジア子ども文庫」を中心に、各館にて展示していきます。</li> </ul>	<p>継続</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国からやって来た子どもたちが寝屋川市の地域や学校等において円滑に生活や学習ができるよう図書館は実態を把握し、学校や地域、各種団体が連携して支援に努めます。</li> </ul>	<p>継続</p>